

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
101	101	市民美術展覧会	01	01	一般会計
			02	02	総務費
基本施策	35	文化芸術により豊かな感性と創造性を育む	01	01	総務管理費
			07	07	文化振興費
担当部課名		企画振興部 文化国際課	101	101	文化振興経費
作成者氏名	松本博臣	連絡先	22-9624	02	美術展覧会運営経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市民美術展覧会の出展者及び観覧者	広く市民の美術に関する理解と関心を深め、芸術・文化の創造に積極的に参加する態度を養う。
本年度事業内容	美術展覧会運営委員及び選考委員を委嘱し、6月から絵画、彫塑、工芸、写真、書道の部門で作品募集の広報をする。10月半ば6日間入賞・入選作品を展示する。最終日には表彰式を実施今年から新たに選考委員の講評を実施。	
開始年度	平成 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.5	0.5
	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	608	823	823
	報償費	474	612	612
	その他	134	211	211
	合計(A+B)	4,208	4,423	4,423
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	0	0	0
	一般財源	4,208	4,423	4,423
上記①～③に関する特記事項				
②報償費、需用費、役務費、警備委託料				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
出品者数	人	227	250	270			
入場者数	人	2223	2290	2360			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
出品者数	出品数の増が市民文化向上を示す指標となる。	点	227 目標 ( 200 )	250	270
入場者数	入場者数の増が市民文化向上を示す指標となる。	人	2223 目標 ( 2000 )	2290	2360

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・合併による文化活動グループの一体化を図るべく運営委員会の組織化を行なう</li> <li>・地域の文化活動を活発化させるために、芸術文化活動に取り組む団体・個人の発表の場が伊賀市一円に広まった。会場使用料、参加者負担金の検討をしていく</li> </ul>
--

評価	必要性	4	事業の実施は、運営委員会の関係者による自主性、責任等により行なう。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	3		
	効率性	2		